

相双教育事務所

令和7年度 社会教育の重点

第7次福島県総合教育計画のもと、人・地域づくりをめざすために、以下を重点施策とします。

地域・学校・家庭とつながる、相双の社会教育事業の推進

- ・「つながり」を大切にし、地域の人々が学び続けられるよう社会教育事業を推進する
- ・「相双ならではの」震災の記憶と教訓を継承する
- ・相双域内12市町村の復興に向けた協働体制の構築を図る取組を支援する

豊

かな心の育成

【県の施策】人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる

相双 → 読書活動支援者育成事業相双地区研修会の開催

- ・図書館及び学校司書との連携やつながりづくり
- ・震災関連の作家や語り部と連携した震災を風化させないための読書活動の推進
- ・選書や読み聞かせスキルの実技研修の実施

相双 → ビブリオバトル相双地区予選の開催

- ・中学生・高校生の参加者募集に係る活動（参加者目標中学生7名、高校生6名）
- ・参観者の募集に係る活動（目標80名）
- ・ビブリオバトルのすそ野を広げるための発信・研修（各中学校・高校での予選会の実施）

人

づくり支援

【県の施策】福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する

相双 → 社会教育に関する各種研修会の周知

- ・公民館訪問や社会教育研修の計画的な実施
- ・社会教育主事・社会教育士の有資格者を増やすため講習受講の奨励と、社会教育主事講習時の支援
- ・地域連携担当教職員等研修会及び地域学校協働研修会の内容の工夫と周知
- ・講話や実践発表、研究講義等を通じた地域連携担当教職員等の資質向上
- ・PTAや青少年教育団体、成人教育団体関係者に対する講話や研修を通して活動が活性化するような支援
- ・県生涯学習課と連携しての震災の記憶と教訓を継承するための支援

つながりづくり



家

庭教育力の向上

【県の施策】学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる

相双 → 子どもを取り巻く課題を把握し、対象者のニーズに応じた研修内容と講師選定

- ・家庭教育3つの提言を活用すると共に、子どもからの意見も取り入れながらの改定作業

相双 → 支援チームや応援企業及び関係機関等と連携した地域の家庭教育の推進

- ・応援企業による推進活動の情報収集
- ・家庭教育応援企業の新規登録
- ・家庭教育支援チームの発掘及び登録募集

相双 → ふくしま絆ふれあい支援事業の推進

- ・作品募集と域内選考作品集の作成
- ・相双域内一次選考会及び表彰式の実施
- ・十七字のふれあいを活用した体験活動の充実
- ・学校現場や家庭で、日常的に十七字のふれあいを活用していくための啓蒙活動

研究会等での協議や意見交流を企画し社会教育関係者及び、学校関係者、地域住民とをつないでいく

- ・各自治体との交流を積極的に行い、様々な部署のつながりの中で社会教育の充実を図る
- ・自治体や学校や講師等、人と人をつなぎ、社会教育の充実を図る

地

域支援

【県の施策】福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する

相双 → 地域学校本部事業を通して、地域と学校の連携・協働の下、子どもたちの学びと共に大人の学びも充実していく支援

C Sと地域学校協働活動の一体的な推進を進めるための支援

相双 → 「放課後子供教室」をはじめ、子どもたちの居場所づくりや学習、体験活動の充実が図れるような支援

相双 → 社会教育推進に向けた情報の共有

- ・市町村社会教育担当者のネットワークの強化（公民館訪問及び社会教育研修会等へ他市町村からの参加）

相双 → 文化財パトロールを通しての文化財保護や伝統芸能保存の推進

- ・域内にある文化財の積極的な紹介・発信